

# 会 議 録

## 1 会議名

第5回浦川原区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### ○報告（公開）

(1)会長報告

(2)委員報告

・中学生との意見交換会について

(3)市からの報告

### ○協議（公開）

(1)「上越市過疎地域持続的発展計画変更（案）について」の諮問に対する答申について

(2)自主的審議事項の検討について

(3)「地域活性化の方向性」の作成について

### ○その他（公開）

(1)出張地域協議会について

(2)各区（清里・大島・直江津）における「地域活性化の方向性」

## 3 開催日時

令和5年8月29日（火）午後6時30分から7時10分まで

## 4 開催場所

浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

## 5 傍聴人の数

なし

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：相澤誠一、春日清美、北澤誠、北澤正彦、五井野利一、杉田和久、藤田宏裕会長、村松進副会長

・事務局：浦川原区総合事務所佐藤所長、佐々木次長、竹田次長、産業グループ宮川グループ長、建設グループ大島グループ長、市民生活・福祉グループ石川グループ長、春日上席保健師長、教育・文化グループ西山グループ長、総務・地域振興

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・出席者8人。欠席者は赤川義男委員、池田幸博副会長、小野正広委員、宮川勇委員。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告。
- ・会議録の確認：五井野利一委員に依頼。

### 【藤田会長】

それでは次第に沿って進める。

「2 報告」の「(1)会長報告」であるが、8月24日（木）午後6時30分から川谷の天明さんをお招きして、研修会を一般公開で実施したところ、一般の方16名の参加があった。

自身の生活の状況や仲間づくりの状況、連帯を保つための組織づくりや対外的な付き合い方、後輩の育て方等々、講義をしていただいた。

委員の方以外も、今回の講演の内容について深く吟味していただき、それぞれの町内会で生かしていただければと期待しているところである。

以上、会長報告とする。

続いて「(2)委員報告」であるが、村松副会長から「中学生との意見交換会について」説明を受ける。

### 【村松副会長】

7月26日（水）午前10時から、私と教育・文化グループの西山グループ長の2人で中学校へ行き、校長先生、教頭先生、担任の先生の5人で打合せを行ってきた。

校長先生からは、「浦川原の偉人を対象にしてはどうか」という提案が出されたので、私も浦川原村史を調べたところ、人物史の項目で28名の方の名前が載っており、その中からどのように対象とする人物を絞っていくかなど、考えているところである。

今回の打ち合わせでは、校長先生から「9月中にある程度のめどを付けたらどうか」との話があったので、今後、実行委員と協議しながら中学校と調整し、浦川原の偉人を対象に中学生との意見交換会を進めていきたいと考えている。

### 【藤田会長】

各時代で地域に貢献された偉人の方々を取り上げていきたいという校長先生の意見があり、9月中に絞っていきたいということである。

今の説明について意見、質問等があれば受ける。

(会場内から「なし」の声)

それでは、村松副会長から進めていただきたいと思っているので、よろしく願います。

続いて「(3)市からの報告」であるが、市から何か報告事項はあるか。

【佐藤所長】

特になし。

【藤田会長】

次に「3 協議」で「(1)上越市過疎地域持続的発展計画変更(案)の諮問に対する答申について」であるが、前回市から説明を受けたところであり、本日は皆さんから意見をいただき、答申したいと思っている。

この諮問に対して皆さんからの意見等があれば発言いただき、答申に盛り込んでいきたいと思っているが、いかがか。

(会場内からの意見なし)

意見がないようなので、地域住民の生活に支障がないものと認めるとして、本日答申の方向で進めたいと思うが、大事な部分であるため、賛成される方は挙手をお願いします。

(全委員挙手)

全員一致である。

なお、答申文書の提出に当たっての内容確認は、正副会長に一任いただきたいと思う。

続いて、「(2)自主的審議事項の検討について」であるが、A・B両グループとも8月のグループワークの開催はなかったということで、A・Bグループの今後の方向性についてお話しいただきたいと思う。

なお、Aグループの池田リーダーから「しばらくの間会議を欠席したい」との申し出があり、北澤正彦委員に代理をお願いしますこととしたので、Aグループについては北澤正彦委員に説明をお願いします。

【北澤正彦委員】

8月はAグループの協議がなかったため、Aグループの皆さんの9月の日程の確認をさせていただいた。

9月8日(金)の午後6時30分から総合事務所3階の301会議室でグループワークを開催したいと考えているので、よろしく願いしたい。その際、7月に皆さんにお配りした内容について意見をお聞きし、とりまとめ、9月の地域協議会で報告したいと思っている。

【藤田会長】

Bグループであるが、次回のグループワークは9月22日（金）午後6時30分から浦川原コミュニティプラザ4階の市民活動室2で開催する。

既に皆さんにも報告しているが、大きな項目が2点ある。

一つは、浦川原の駅舎を利用してイベントを開催し、その中で「マイレール」ということで、ほくほく線の今後の利用促進や大切な鉄道をなくさない方策をとっていかうということで、8月27日（日）に第1回目のイベントを実施しようとしたが、「猛暑の中、熱中症などになったらどうするのか」といった意見もあり、足踏みしてしまった。また、冷房用の扇風機などの手配が間に合わなかったこともあり、協力者には申し訳なかったと思っている。もう少し涼しくなったら、今回立案した計画に沿った形で進めていきたいと思っている。ただ、実際に計画してみると、お金も必要なことがわかってきた。

もう一つは、北越急行株式会社のネットショップ網を利用した農産物や特産品の販売について、既に企画書を提出しており、まだ報告は受けていないが、事務局を通して北越急行株式会社へ話が伝わっていると思っている。こちらにも実際に実施するとなると、お金が必要になってくるということがわかってきた。

これらの企画は、NPO法人夢あふれるまち浦川原へお任せして、企画、進行をしていただくことになっていて、この2つの案件については「地域独自の予算」という形で組み立てている。8月31日が締め切りとなっているので、これに間に合うように提出していきたいと思っている。

次回、9月22日のグループワークは、浦川原区内における公共交通、デマンドバスについて勉強会を開き議論を深めていきたいと思っている。牧区、安塚区における運行実績についても報告をいただいているが、Bグループの皆さんには、たたき台を作成して事前に配付し、議論していきたいと思っている。

以上、Aグループ、Bグループの説明について、意見、質問等があれば受ける。

（会場内から「なし」の声）

#### 【藤田会長】

次に「(3)地域活性化の方向性の作成について」で、前回の地域協議会で北澤正彦委員から提案いただいたものを含め、案を作成して事前に送付しているので、皆さんから意見をいただきたいと思っている。

他の区より具体的な内容となっているため、それなりの責任を持ったやり方をしていかなければならないと思っている。よろしいか。

（会場内から「はい」の声）

それでは、この案を浦川原区の「地域活性化の方向性」として公表するというご願  
いする。

続いて「4 その他」の「(1)出張地域協議会について」で、末広地区を対象として浦川原  
里山地域活性化センターを会場に秋頃に開催したいと思っている。

正副会長会議で協議し、日程の候補として11月17日(金)、11月30日(木)のど  
ちらかで、午後6時30分から開催したいと思っている。おそらく日も短くなってきて、年  
末も近いということで、きちんと周知していかなければ地域の皆さんは参加していただけない  
のではないかと考えている。

皆さんの予定が付くようであれば、11月17日(金)の午後6時30分からということ  
でお願いしたいが、いかがか。

(会場内から「はい」の声)

それでは、出張地域協議会は11月17日(金)で決定したいと思う。

次に、本日お手元に清里区、大島区、直江津区の「地域活性化の方向性」が配付されてい  
るので、確認をお願いします。

続いて、「5 次回の会議日程」についてである。9月26日(火)午後6時30分から、  
浦川原コミュニティプラザ4階市民活動室4・5で開催したいと思っている。皆さんのスケ  
ジュール調整をお願いしたい。

以上、本日の予定した内容については以上であるが、皆さんから何かないか。

#### 【北澤正彦委員】

先日、地域協議会委員研修会ということで、天明さんから講演していただいたが、質疑応  
答の際に、月影の郷の支配人から谷集落における地域おこし協力隊の話が出て、谷集落の方  
の意見もお聞きした。藤田会長も農業や福祉の方面で動かれている部分があると思うが、そ  
の辺との兼ね合いはどうなのか。月影地区を含めた中で、また、藤田会長も動いている内容  
も含めた部分で何か事業展開があり、そこへ地域おこし協力隊の派遣も考えながら月影地区  
の活性化につなげたいといった方向性なのか。もし、何かビジョンがあればお聞かせいただ  
きたいと思う。

#### 【藤田会長】

谷集落が協力隊を募集しているというお話は、研修会の中で初めてお聞きした。

私の住む熊沢町内会でも高齢化が進んできていて、「棚田」といわれる田んぼについては、  
条件は非常に悪いが、耕作をやめられる田んぼを引き受けているというのが実情である。

月影地区は、以前300戸ほどあったが、今は100戸ほどになってしまった。それを今

後どうしていくかが大変な問題であると思っている。

谷集落の協力隊の申請については、行政の方がよく知っていると思われるので、そちらへお聞きいただければと思う。

**【総務・地域振興グループ北澤班長】**

地域おこし協力隊については、令和2年度に実際に募集を行い、現地見学者が数人来て一人が応募されたが、地域の要望と合致しなかったため、採用には至らなかった経緯がある。その後、月影の郷ワークショップにおいて、支配人と地域住民、そして我々行政が入って、地域おこし協力隊の募集をどうするかといった話合いが行われているが、支配人からは、「どういった募集をしていくか、役割分担を含めて考えたいので、募集は先送りしたい」とお聞きしている。

今回の谷集落の話については、月影の郷の話とは別である。谷町内会から農地の保全についての要望があり、話を進める中で谷町内会として正式に地域おこし協力隊を要望するという話がまとまったので、これから予算要求に向けて動いていくといった状況である。

**【北澤正彦委員】**

谷町内会から話のあった協力隊に関しては、月影地区、月影の郷とは別の話という認識でよろしいのか。

**【総務・地域振興グループ北澤班長】**

そうである。ただ、谷町内会で地域おこし協力隊として活動する中で、主ではないが、地域住民として田舎体験の受入れや月影の郷の運営協力といった部分を盛り込んでいくことについて、谷町内会の方と話をしている。

**【北澤正彦委員】**

私個人の考えとしては、月影の郷の存在は大事に思っており、何かあれば協力したいといつも思っている。

月影の郷というと、どうしても「月影地区」というバックボーンがあり、トータルで月影の郷が主になって、物事を考え、物事を動かすといった方向性の方が、何かと人もお金も集まってくると思っている。今回、なぜこれをお聞きしたかということ、それありきで、谷集落が月影地区の活性化のために募集をすと思った。研修会で支配人からお話が出て、谷集落の話になったためそう思ってしまった。

月影の郷については、行政も含めて動いていただいているという話もお聞きしたところであるが、月影地区トータルでのビジョン的なものではなく、たまたま谷集落から協力隊の募集が出たという認識でよいか。

#### 【総務・地域振興グループ北澤班長】

月影の郷自体が、月影地区を人と人との交流によって活性化しようという目的で作られた施設であり、施設に地域外からいろいろな人が来ることで、月影地区にも良い影響が出るといふこと。月影の郷の経営状況をよくして、いろいろな人から来てもらうことで、ひいては月影地区の活性化にもつながるといふことを目的にワークショップを開催している。

当初は、月影の郷の運営支援を第一の目的として、協力隊を募集するといふことで動いてきたが、今は月影の郷の支配人の方でストップをしている状況である。月影の郷とは別の話となるが、谷町内会で協力隊が活動するようになれば、月影地区に先輩の協力隊がいることになり、月影の郷の運営支援や月影地区全体を応援するように協力隊が入りやすくなるのではないかと思っている。

天明さんという存在が先にいて、新規就農者や移住者が増えてきているといふ事例もあるので、それをまねるわけではないが、谷町内会に先輩の協力隊が入ってもらえれば、月影地区にとってもプラスになるのではないかといふことで話を進めている。

月影の郷、月影地区も含めた支援については、今後も考えていく。

#### 【北澤正彦委員】

できるだけ頑張ってください、谷の協力隊が良い形になることを心から願っている。

#### 【総務・地域振興グループ北澤班長】

地域おこし協力隊については、あくまでも地域から行政に要望があつて、その要望を叶えるために行政が予算措置等をするものであり、行政主導ではない。月影の郷を含めた月影地区、谷町内会の中で合意形成がなされ、地域おこし協力隊が採用された後は、地域と協力しながら地域活性化に向けて動いていけるかといふところが大事であり、行政はそのお手伝いをする形であるので、地域の方と相談しながら進めていきたいと思っている。

#### 【藤田会長】

他に何かないか。

(会場内から「なし」の声)

それでは、第5回浦川原区地域協議会を閉じる。

#### 9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : [uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料も合わせてご覧ください。